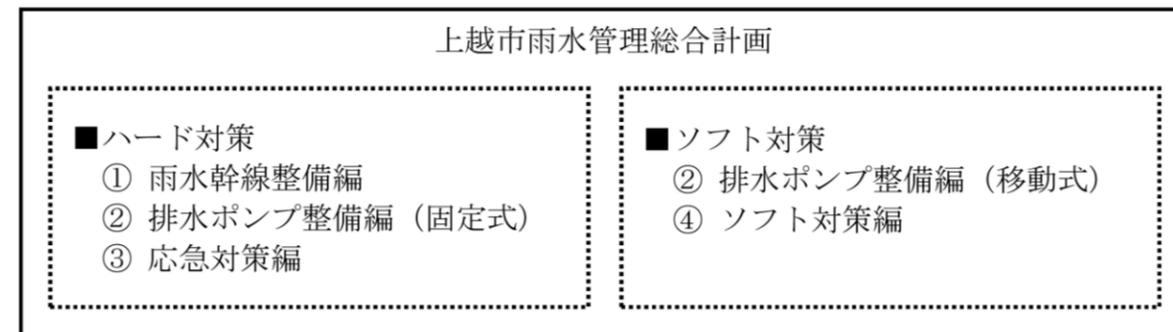


下水道事業における浸水対策について

1 上越市雨水管理総合計画の策定

当市の下水道事業における浸水対策は、汚水整備を優先していたこともあり、雨水幹線整備については継続的に実施しているものの全体としては整備が遅れている。

多発する浸水被害への対策を効率的かつ効果的に進め、早期に浸水被害の解消・軽減を図ることを目的に「雨水管理総合計画」を策定する。(H29～H30)



【4つの対策】

○ 雨水幹線整備編

公共下水道事業計画に基づく雨水幹線等の整備が遅れている現状から、過去の浸水被害の評価を行い、優先順位の高い地区において、効率的かつ効果的に雨水幹線を整備する。

<雨水幹線整備編の方針>

1. 整備優先箇所の明確化

「浸水リスク」を評価し、優先的に雨水幹線を整備する箇所を明確化する。

2. 整備水準の設定

従来の整備水準と整合を図り、計画降雨を7年確率(47.6mm/h)とする。

3. 整備目標の設定

整備には多くの費用が必要となるため、将来を見据えた目標(短期・中期・長期)を設定する。

4. 地域に応じた整備方法の検討

既存施設を最大限に活かした「低コストで効率的・効果的な雨水対策」を検討する。

○ 排水ポンプ整備編

河川の水位上昇に伴い発生する浸水被害に対し、適切なポンプの配置と新たなポンプの必要性を検討し、必要な排水ポンプを整備する。

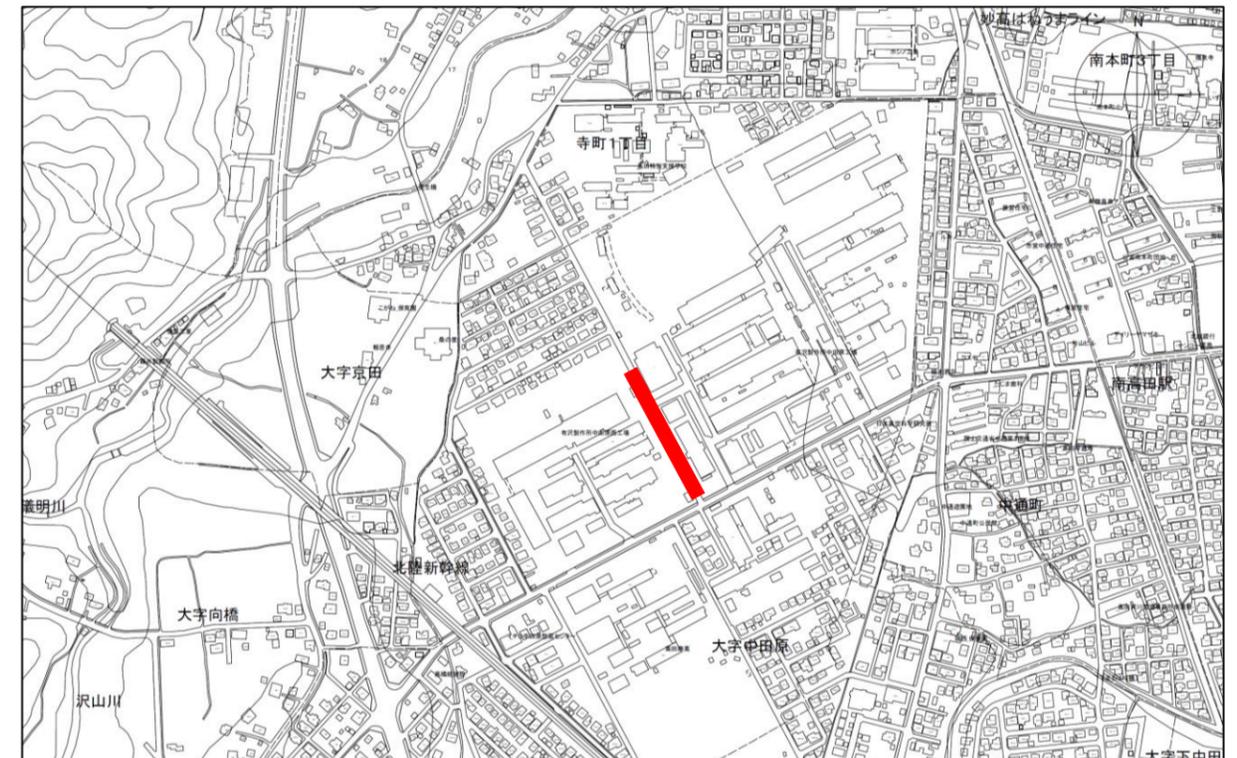
○ 応急対策編

雨水幹線等の改修によらず、軽微な改修により浸水被害の軽減に大きな効果を得ることができるものや、新たに発生した浸水被害で、早急に対策を行う必要があるものに対して応急的な対策を行う。

○ ソフト対策編

ハード整備だけでは対応が困難な浸水被害に対し、市民へ安全な避難を促し、被害を最小限に抑えるために、水位観測情報の収集・提供などのソフト的な対策を行う。

2 金谷地区南部における応急対策について



平成30年10月24日
河川海岸砂防課

準用河川前川 全体図

縮尺=FREE

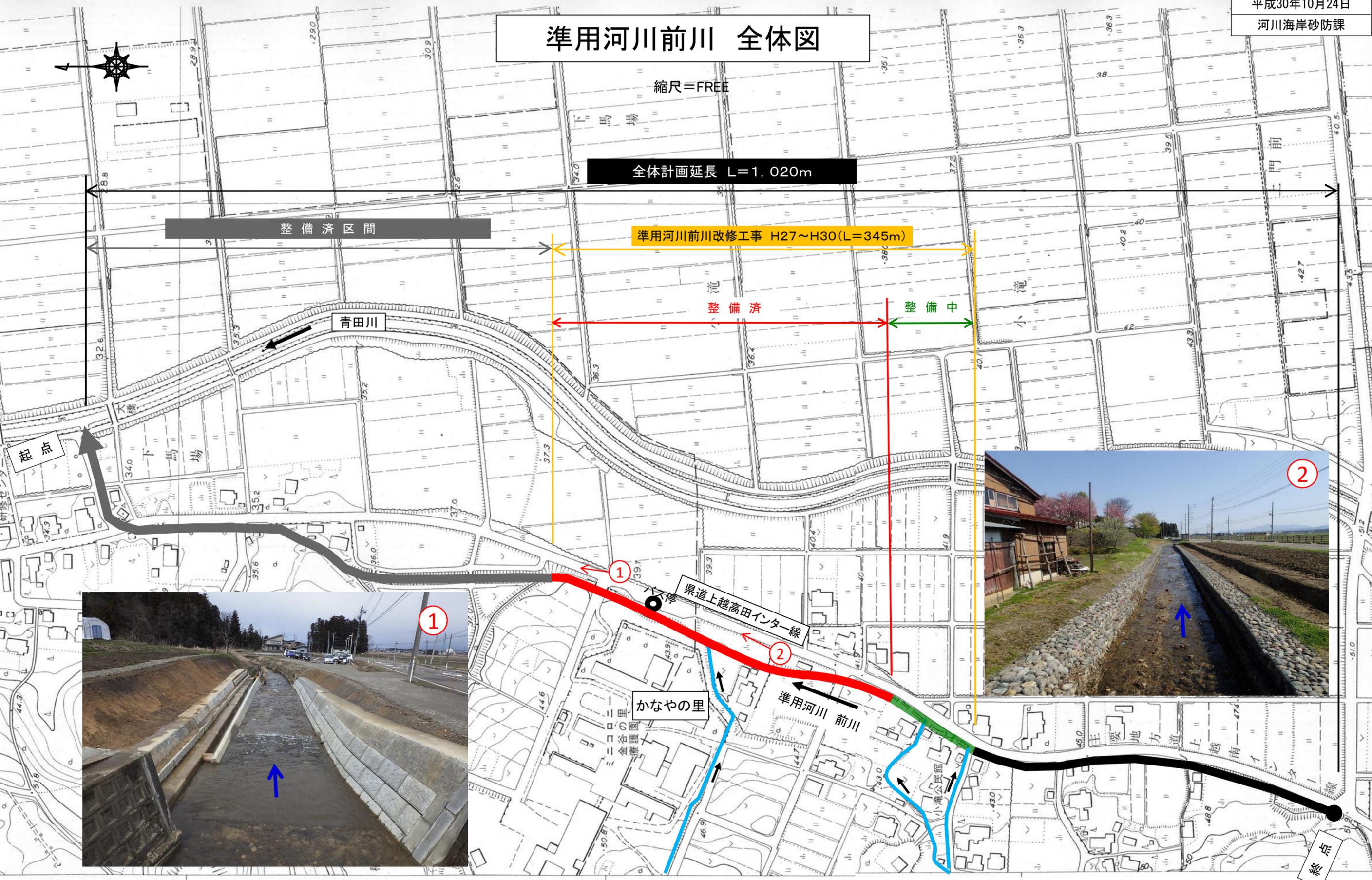
全体計画延長 L=1,020m

整備済区間

準用河川前川改修工事 H27~H30(L=345m)

整備済

整備中



①

②

②

県道上越高田インター線

かなやの里

準用河川 前川

終点

起点

